

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもくらぶ キジマール		
○保護者評価実施期間	R7年3月14日		R7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	R年3月14日		R7年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善や適切な支援を提供する為に、職員が意見が出しやすい環境である。	毎朝、ミーティングにて、前日の振り返りを行い、子供たちの状況を伝えあい、支援方法等を相談している。また、定期的な職員会議・支援会議を行っており、積極的に職員同士がコミュニケーションを取っている。	今後、更に業務改善や適切な支援を提供する為に、職員研修などを行い、職員同士でスキルアップを図ってきたい。
2	近隣にスーパーや公園、図書館等があるため、活動の幅が広がっている。	公共施設でのマナー等、頻回に体験することが出来る。調理活動では、近くのスーパーに調理する物を購入する事で、作業工程を確認する事が出来ている。	今後、利用日以外でもマナーを守って利用できるように関わってきたい。
3	活動プログラムの立案をチームで行い、固定化しないよう工夫している。	子供達一人ひとりの課題にあった活動プログラムを立案し、固定化しないように多種多様な活動を意識している。また、子供達・職員が楽しめるプログラムを立案している。	こども会議を開催し、子供たち中心に活動を話し合って決定する場も設けていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンする個室がなく、活動スペースが狭い。	事業所自体のスペースが狭いため、活動によっては狭く感じることもある。	活動場所を近隣の公園や体育館、図書館などの公共施設を多く利用している。クールダウンの際は、簡易間仕切りを利用して対応している。今後、事業所自体の場所の変更(引っ越し等)も検討している。
2	現在、父母の会の活動の支援(活動なし)、きょうだい向けのイベントの開催(未実施)、出来ていない。また、保護者会の開催も年に1回の開催のため、保護者同士の交流の機会が少ない。	子供の支援体制の構築優先で、複数回の開催はできていなかった。	今後、保護者会の開催を増やし、保護者の意見を聞き、きょうだい向けのイベントや父母会の活動支援なども検討していきたい。
3	地域のこども達や地域住民との交流の機会が少ない。	地域小学校を利用する子供たちが多く、日々の生活の中で地域のこども達と交流がある子もいるが、少ない子もいる。また、事業所の行事に地域住民を招待する出来ていない。	今後、地域のこども達・地域住民と関わられるよう、地域行事等への参加していきたい。